

洪水防止機能

～洪水を防ぐ働き～

田畑は、雨水を一時的に貯めることができ、洪水を防止・軽減する働きがあります。
(畑での耕作は、表面の土壌の隙間率を高め、保水容量を増大させる。)
これらは、田畑での農作業を継続することにより発揮される機能です。

田

田は、大雨のときに雨水を一時的に貯留し、その後ゆっくりと川に流すことができる。



畑

耕作されている畑では、土の粒子が集まり、団粒構造を作っていて、一時的に、その小さな隙間に水を貯めることができる。



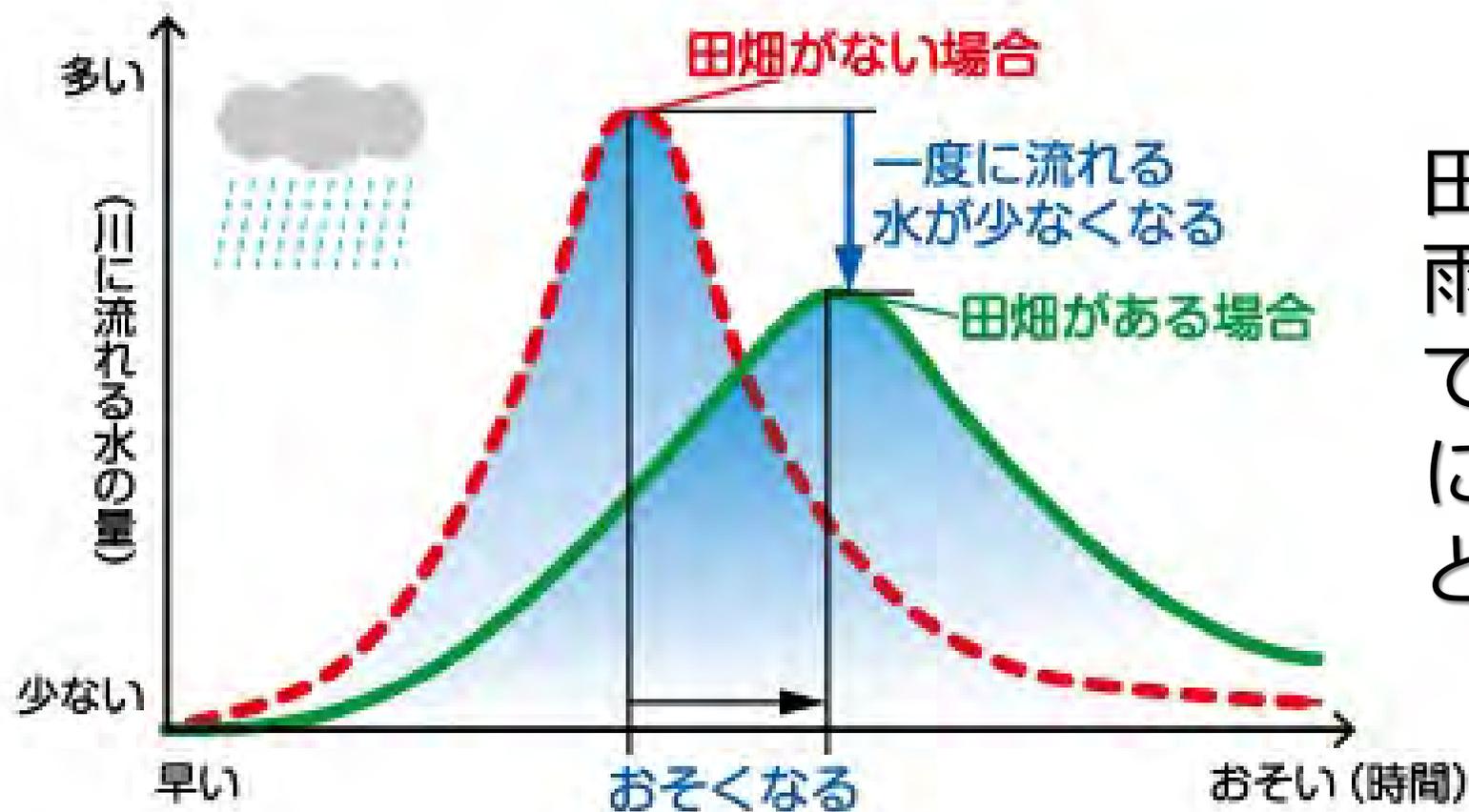
耕作している土



耕作していない土



降雨時、川に流れる水量の変化



田畑のある場所では、雨水を貯留することができるため、一度に川に流れる量を減らすことができる。

—田んぼダムの取組—

田んぼダムとは

田んぼの排水口に排水管より小さな穴の開いた調整板を設置し、水の流出を抑制することでダムの役割を果たす田んぼのことです。

多くの田んぼで取り組むことで、大雨の時に水田内に水を貯留させ下流域の洪水を軽減させる効果があります。

